

平成29年 第12回教育委員会 会議録

日 時	平成29年11月14日（火） 午後2時～午後2時28分
場 所	向日市役所 大会議室
出席委員	永野教育長、前田委員、白幡委員、松本委員、流石委員
事務局	教育部長、副部長兼文化財調査事務所長、副部長兼生涯学習課長、教育総務課長、学校教育課長、学校教育課担当課長、学校教育課主幹、中央公民館長、教育総務係長、教育総務課主査
議 題	委員会諸報告 議案第15号 「向日市議会平成29年第4回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について」
傍 聴 者	1人
教育長	開会宣言
教育長	会議規則の規定により、第10回、11回会議録の承認について諮る。 (全員意義なし)
教育長	会議録は承認された。 委員会諸報告として「向日市地区公民館耐震診断の結果について」の報告を願う。
事務局	— 向日市地区公民館耐震診断の結果について — 物集女公民館、鶏冠井公民館、上植野公民館で耐震診断を行った。 診断結果は、耐震性能判定数値（IS値）が物集女公民館で0.76、鶏冠井公民館で0.75、上植野公民館で0.71であった。 文部科学省では、学校施設の耐震性能として、児童生徒の安全性、地域住民の避難場所としての機能を考慮し、0.7以上としていることから、向日市の各公民館でも同様の目標指数としている。 【質疑等】
委員	耐震性能判定数値が、文部科学省で定めている0.7を下回った場合、法律的に耐震工事等の対応が必要となるのか。
事務局	耐震性能判定数値が、0.7を下回った場合でも、法律的な対応が求められることはない。

教育長	次に、「小学校外国語活動の新教材「We Can！」等について」の報告を願う。
事務局	<p>— 小学校外国語活動の新教材「We Can！」等について —</p> <p>「We Can！ 1」が5年生用、「We Can！ 2」が6年生用であり、平成30年度、31年度に使用するものである。</p> <p>その2年間は、現在の外国語活動の35時間に15時間を追加した50時間の学習を行う予定である。</p> <p>35時間分の学習で使用する教材は、現在の外国語活動で使用している教材「Hi, friends」であるのに対し、追加される15時間の学習では「We Can！」を使用するが、どの時期にどの内容の学習をするのかは、未定である。</p> <p>「Hi, friends」では絵から単語や簡単な短文を学習し、「We Can！」では過去形や複数形などを含んだ少し長い文の学習をするが、文法の学習は行わない。</p> <p>なお、3年生、4年生については、総合的な学習の時間を活用し、15時間程度の外国語学習をする予定である。</p> <p>平成32年度からは、5年生、6年生で外国語が教科化され、70時間の学習を行う。</p> <p>そのため、教科用図書の採択が必須となるため、「We Can！」は使用しない。</p> <p>5年生、6年生で外国語が教科化されるにあたり、中学校での英語学習につなげるため、英語を書いたり、読んだりする言語活動が中心となる。</p> <p>3年生、4年生については、平成29年現在、5年生、6年生で実施している内容を少し簡単にした学習を行う。その時に使用する3年生、4年生用の教材の詳細はまだ公表されていない。</p> <p>【質疑等】</p>
委員	「We Can！」はどこが作ったものか。
事務局	文部科学省である。
委員	可算名詞や不可算名詞などの表現方法の使いわけを教えるのは、学習時間数からみて難しいのではないか。
事務局	文法や表現方法についての詳細までは授業で教えない。

委員	<p>小学校の外国語学習の様子を見学したことがあるが、教員や児童は活力ある様子であった。楽しんで英語に親しむ良い機会であると考え。</p>
委員	<p>楽しんで英語に親しむ良い機会である。 2年後の評価については、どのように行うのか。</p>
事務局	<p>平成30年度、31年度は、文章による評価となる。 教科化される平成32年度からも、3年生、4年生は、引き続き文章による評価となるが、5年生、6年生は段階評価となる。 現在、全科目で評価方法は、4観点であるが、新学習指導要領が導入されると、知識や技能、思考力や判断力、学びに向かう力の3観点に変更となり、教科化される外国語においても同様の評価方法となり、見て書ける、聞いて書けるという能力を見ていくことになる想定している。</p>
委員	<p>「Hi, friends」、「We Can!」で学習する範囲は決まっているのか。</p>
事務局	<p>2つの教材で連動して学習できるよう、どの範囲を学習するのかの計画は決まっているが、いつその範囲を学習するのかは決まっていない。</p>
委員	<p>今後、英語に親しみながら聞いたり、話したりできるコミュニケーション能力を重視する目標に向かって取り組んでいくということか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。 評価についてもその目標への取組を重要視していくことになると考えている。</p>
委員	<p>小学校の教員全員が、研修等を通して指導技術を身に付ける必要がでてくる。 現状の教員の反応はどうか。</p>
事務局	<p>指導技術を身に付ける必要がある。 外国語活動は以前から実施しているので、教員の混乱は見られない。 また、実際に授業をした経験が、円滑な進行の自信にもなっている。 積極的に外国語活動の授業をするよう伝えているので、児童が楽しみながら英語に親しむことができる授業になるように、試行錯誤をしながら、取り組んでいる。</p>
教育長	<p>議案第15号「向日市議会平成29年第4回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について」を上程する予定であったが、向日市議会平成29年第4回定例会の議決を経るべき案件について、教育委員会への意見照</p>

教育長	会が見送られたので、この議案は上程しないこととする。 閉会宣言
-----	--

向日市地区公民館耐震診断の結果について（報告）

平成29年11月14日
中央公民館

1 診断実施施設

- ・物集女公民館（開設：昭和49年1月1日）
- ・鶏冠井公民館（開設：昭和56年4月1日）
- ・上植野公民館（開設：昭和56年4月1日）

2 診断結果

- ・耐震性能判定数値（I S 値）

物集女公民館	鶏冠井公民館	上植野公民館
0.76	0.75	0.71

- ・各公民館とも目標とする指標値（※）を上回っているため、耐震補強等の必要はありません。

※ 文部科学省では、学校施設の耐震性能として、児童生徒の安全性、地域住民の避難場所としての機能を考慮し、その目安を0.7以上としていることから、本市の公民館においても同様に、目標指標値とするものがあります。

小学校外国語活動の新教材「We Can!」等について

平成 29 年 11 月 14 日
学校教育課 指導係

以下のとおり報告します。

【別添資料】

- ・ 文部科学省資料

